

とんど焼き

1月12日、湯船区で「とんど焼き」が行われました。

令和7年12月定例会

決まったこと 補正予算・主な質疑 >>> P.2

一般質問 3人が町政を問う >>> P.4

委員会報告 総務厚生・産業他 >>> P.8

管外視察報告 伊根町・おおい町 >>> P.10

私の推し 医学博士 藤井優子さん >>> P.12

令和7年度
補正予算

地域ポイント付与

重点支援地方交付金(物価高騰緊急支援給付事業)

第4回定例会を12月11日と19日に開催し、令和7年度補正予算、条例改正などを審議しすべて可決。議員提案の意見書は4件を否決しました。

○一般会計補正予算	5,320万円
○国民健康保険特別会計補正予算	△8,726万円
○介護保険特別会計補正予算	543万円
○簡易水道事業会計補正予算	
・水道事業収益	8万6,000円
・水道事業費用	99万4,000円
・資本的支出	8万6,000円
○下水道事業会計補正予算	
・下水道事業収益	119万円
・下水道事業費用	157万6,000円

補正予算Q&A

問 物価高騰緊急支援給付

事業についての詳細の内容は。

答 世帯に1万円、1人1万円、65歳以上の人に追加で3000円、ポイントとして付与。

問 付与したポイントが1

円も無駄なく使用できるために、町として使える環境整備が必要では。

答 令和7年度の予算なので今年度内に使っていたべくよう努力する。

問 企業版ふるさと納税の

寄附金、安心な暮らしを守り、日常生活範囲の拡大を図る事業で1000万円計上、これはどのような事業か。

答 公共交通に関する事業や、インフラの整備、それ以外にも野生鳥獣対策の事業など。

問 今年度中の診療所をどのように維持し、患者に

迷惑をかけない体制を整備するか、実際の現状と、そのような事が起こった場合の対応は。

答 今の非常勤の医師、並びに、現在要望中である山城総合医療センターや、千春会にもお願いしている状況。

問 地域創造アドバイザー

事業の具体的な委託の身は。

答 本町の抱える課題等、総務省に登録されているアドバイザーから、解決に向けての助言を頂き、茶業の後継者不足等の課題や町内での雇用創出を目指す取組、また地域おこし協力隊の活動を円滑に支援するためのサポート体制の構築等、外部人材の紹介などを委託する事業。

問 直営診療所の件、報奨

金110万円の意味は。
答 医師が休まれた場合のバックアップ体制の今の非常勤医師方の報奨金。

条例改正・制定・締結

相楽中部消防組合規約の一部改正

所在地を木津川市城山台九丁目1番地2に置く。

グリーンティ和東の設置及び管理に関する条例

指定管理者に管理を行わせる事ができるよう改正。

乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

乳児等通園支援事業の設備・運営に関する基準を定める。

特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める。

認定こども園条例

令和8年4月に和東町立和東保育園を保育所型認定子ども園に移行する。

簡易水道事業給水条例

災害その他の市町村等の指定を受けた給水装置工事事業者が工事を行うことができるよう改正。

公共下水道条例

下水道法施行令の一部改正に伴う改正。

税条例

町民税に特定親族特別控除を新設。

地方公共団体情報システムの標準化に伴う関係条例

国の地方公共団体情報システム標準化に対応するため、個人番号の利用に関する規定や用語を整理し、関係条例を改正。

職員の給与に関する条例

人事院勧告等の閣議決定に伴う改正。

特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例

人事院勧告等の閣議決定に伴い、一般職の指定職職員に準じて改正。

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

職員の給与と条例改正に伴い改正。

町道中溝学校線拡幅改良工事請負契約(第2回変更)の締結

契約金額を4503万4000円から4910万7300円に変更。

意見書

第4回定例会(12月)に次のとおり意見書が提出されました。

①医療費削減の中止、診療報酬の大幅引き上げを求める意見書
提出者 岡本正意 議員

否決

《賛成者3人》
《反対者6人》

②消費税減税の実施を求める意見書
提出者 岡本正意 議員

否決

《賛成者3人》
《反対者6人》

③非核三原則の堅持を求める意見書
提出者 岡本正意 議員

否決

《賛成者3人》
《反対者6人》

④マイナ保険証一本化の撤回を求める意見書

否決

《賛成者4人》
《反対者5人》

各議員の賛否

令和7年 第4回定例会(12月)に提出された議案のうち賛否がわかれたもの

会議区分	議案名	審議結果	議員名										
			岡田 勇	宗 健司	山本達也	高山豊彦	村山一彦	井上武津男	岡本正意	吉田哲也	小西 啓	畑 武志	
本	地方公共団体情報システムの標準化に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	欠	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-
本	和東町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	欠	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-
本	医療費削減の中止、診療報酬の大幅引き上げを求める意見書	否決	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	-
本	消費税減税の実施を求める意見書	否決	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	-
本	非核三原則の堅持を求める意見書	否決	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	-
本	マイナ保険証一本化の撤回を求める意見書	否決	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	-

※会議区分の、本は本会議 ○は賛成 ×は反対 欠は欠席 -は採決に加わらない
畑 武志議長は本議会の採決に加わらない。

一般質問

町政を問う！ 提案する！

12月11日に行った一般質問には、3人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。各議員の質問項目を紹介します。

①高山 豊彦 議員（5 ページ）

◎現状の課題を問う

1. 国保診療所の運営について
2. 茶源郷行政情報配信システムの活用について
3. 体験交流センターの活用について
4. 物価高騰対策について

③岡本 正意 議員（7 ページ）

1. 地域医療を守る取り組みについて
2. 山城総合医療センターを守るために
3. 府教委の府立高校再編方針をどう考えるか
4. 「非核三原則」見直しに反対を

②山本 達也 議員（6 ページ）

1. 和東町の移住就農者獲得のための取り組みは
2. 林業の活性化において現在の取り組みと森林樹木の有効活用について今後の施策は
3. 今年度の企業誘致軒数および名称、業種、売上や雇用規模、事業開始時期は
4. グリーンスローモビリティなどの観光ルートの草刈りや清掃について、今の頻度と状況は
5. お茶の京都グリーンライナー（和東急行線）の利用実績は
6. WazCarの運用で高校生の通学利用定期券を発給できないか

一般質問は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。

詳細は、後日ホームページに掲載する議事録と和東町チャンネルでご確認ください。





たかやま とよひこ
高山 豊彦 議員

来年度も住民が信頼できる 医師の確保を！！

町長

今までと同様の体制を組めるよう 住民が信頼のおける医師の着任に努めている。

問 国保診療所事業の継続についての取り組みは。

答 保健福祉課長

医師の退職に起因する今後の体制については、山城南保健所をはじめ京都府医療課や府立医大、山城総合医療センターの協力を仰ぎながら医師の確保に奔走している。

また、現在、個別に契約している非常勤医師へ継続した勤務や診察日数等について交渉をしている。



問 現在の医師にとどまっていたく働きかけは。

答 町長

7月後半に医師から思いを告げられ、今の段階では待ってもらえるよう話をしてきたが、来年3月31日をもって退職という意向は変わっていない。

わっていない。

問 4月以降医師が欠員になった場合の対策は。

答 町長

1日の患者数は35人程度で、医師と相談する中、自分が見られなくなった場合のことも考えていただいている。また、今後の方向性としては、最低診療所として動かせる期間の主任医師を所長として着任していただき、内科だけでなく再生関係リハビリや外科等の非常勤医師を見つけない。

茶源郷行政情報配信システムの活用を問う

問 情報共有のために全戸貸与が必要では。

答 理事兼総務課長

ネットワーク環境が必要となり、環境が整えば対応する方針。

問 要綱では、「行政の運営に関する事項を効率的に伝達するとともに、住民に必要な情報を的確かつ迅速に提供する」とあるが、情報配信システムの有無により得られる情報が異なる。

伊根町では全戸にタブレット端末が支給され、「い

ねばん」という専用のアプリにより閲覧板や行政の情報、議会の録画視聴等様々な情報が得られ、スマートフォンでも「いねばん」アプリで閲覧することができ。本町でもアプリを検討しては。

答 町長

LINEアプリを活用した防災行政無線や瓦版等ができないか担当課の方に指示をしていて、可能になればホームページや様々な情報をスマートフォンアプリで提供することも検討していきたい。

体験交流センターの活用を問う

問 現在どのような活用をされているのか。

答 まちづくり応援課長

相楽東部広域連合総務課や教育委員会、和東町史編さん室が日常業務を行うほか、図書室、スマートワークオフィスが設置されており、ホール、会議室、和室などで、教育、文化、レクリエーション等サークル活動にも利用されている。

問 以前は援農や国際的な農業体験などでも利用

されていたが、現在は認められていないと聞けが、以前のような使用はできないか。

答 まちづくり応援課長

コロナ禍の影響で援農の受入れがなくなり、現在受入れはしていない。

答 町長

国際ワークキャンプという形で農業体験をしていたことがある。今後、プログラムを計画され出される場合には許可していきたい。

物価高騰対策を問う

問 国の重点支援地方交付金を活用した考えは。

答 理事兼総務課長

物価高騰緊急応援給付事業で1世帯1万円、特別加算枠で1人5千円、65歳以上の方に町独自で3千円を追加し、議会2日目の補正予算の議決をいただければ、12月22日には使用できるよう茶源郷ポイントを給付する準備を進めたい。
また、子育て応援給付事業は0歳から18歳までのお子様1人2万円を2月の児童手当に合わせて現金給付する予定。

※補正予算で1人1万円に増額。

和束町の移住就農者獲得のための 取組みは

やまもと たつや
山本 達也 議員



農業法人への助成、就農研修支援や京都府と農業次世代人材投資 資金給付金事業や担い手確保・経営強化支援事業を実施

町長

問 移住就農者獲得の取り組みで全国で開催の就農イベント参加や後継者問題に対する新規就農者のマッチング実態、耕作放棄地への新規就農者マッチングの現状は。

答 理事兼建設農政課長 現在までイベント参加実績は無い。新規就農者は直近10年間で12件に補助金支援、7件が就農。今年度5件の新規就農の相談あり。耕作放棄地は町として把握はできず、今年度から京都府の農地中間管理機構が農地の貸借を担い町の農業委員会に許可申請が行われているが、農地貸借や所有権移転の問題で踏み込んだ取り組みができていない。

問 町の誇りの茶畑景観は農家さんが懸命に守り引き継いできた人工景観で後継者不足は景観の荒廃に直結する。助成・補助支援事業は町外へイベント等を通じ広く告知、積極的な就農者獲得が必要。農業支援や子育て支援等優れた事業の「知られていない状態」

を問題点として捉えず発信・告知方法を日々改善、更新していない。ホームページにただ出すだけであとは見る側に責任を転嫁していいか。新規就農者の住まいも必要。空き家バンクに登録のない放置空き家の解消ももつと問題意識を持ち移住者による人口増と空き家の検出は直結した課題として違うアイデアを出す事が重要。住宅支援、金銭的生活支援、研修プログラムの流れを図にし、和束に来れば安心して一気通貫で新規就農が始められる表示をすぐしていただきたい。

問 林業の活性化において現在の取り組みと森林樹木を有効活用するための今後の施策は。

答 理事兼建設農政課長 現在林業を営む方は本町では把握できていない。間伐や樹木の状態など森林組合に業務委託し、森林の維持管理を委託。協議等を重ねて今後の利活用は検討する。

問 搬出の費用は必要だが、林業法人誘致や高級木材の郷として間伐材を利用した最終製品を作る等、収益も考えた林業の活性化で森林整備すると松茸も復活するのは。継続して妙案を期待する。

問 今年度の企業誘致軒数、名称、業種、売上や雇用規模、事業開始時期は。

答 町長 現時点で公表できる企業はない。茶業関係、アパレル系の飲料関係、芸術作家など企業・個人等十数社と事業進出の協議を現在重ねている。

問 先日視察研修に行つた福井県おおい町では治道に法人運営の最新鋭のトマト栽培ハウスが並んでいた。林業も農業も環境・景観破壊せず町内事業者と協力し町のマイナズ面をプラスに変えるような法人の誘致を積極的に進めて欲しい。

問 グリーンスローモビリティなどの観光ルート

の草刈りや清掃についての頻度と状況は。

答 理事兼建設農政課長 年間を通じ会計年度任用職員を雇用し観光ルートに限定せず町府道や法面等の除草・清掃を実施している。

問 お茶の京都グリーンライナーの利用実績は。

答 まちづくり応援課長 運行期間中全体の路線乗車人数は729人、うち宇治市、宇治田原町と和束町の乗車人数は624人、茶源郷まつりの日は1日で128人が利用。

問 WazCarの運用で高校生の通学利用定期券を発給できないか。

答 町長 高校生の通学回数券利用は学割で1回当たり70円、宇治田原町の維孝館中学校前バス停まで1回当たり300円で乗車できる。定期券発行は「和束町路線バス対策協議会」「和束町地域公共交通会議」に諮り京都運輸支局に申請が必要。



おかもと しょうい
岡本 正意 議員

町が責任をもって診療所の医師確保と診療体制維持を

町長

出来るだけ早く報告できるように 努力している



国保診療所は住民の命と健康の拠り所

問 医師確保、診療体制維持のメドは。

答 保健福祉課長
現在、府が窓口となり急ぎ人材確保へ対応しているがメドは未知数。

問 医師確保、診療体制維持は町の責任。メドについての町長の判断は。

答 町長
具体的な段階ではないが、出来るだけ早く報告できるように努力したい。

問 今回の事態を受け、今後の対策は。

答 保健福祉課長

意思疎通不足も事実。医師が働きやすい環境づくりを課題としたい。

問 兼任体制の解消など組織的な改善を。

答 町長
兼任が原因ではないが、事務量の増加等への対応は課題と考える。

問 厳しい経営の根本原因は医療費削減方針による低い診療報酬であり、医療の公的責任を果たす上でも大幅アップの要請を。

答 町長
報酬額はかなり現実と差があると認識しており府、国に要望している。

公共交通の改善を

問 ツツカールの改善へ①乗務員の身分保障の改善②一律化、引き下げ、回数券など料金見直し③ドアアップドア運行を。

答 まちづくり応援課長
①NPO Yubuneが

直接雇用している②引き続き協議したい③自宅での乗降登録も議論している。

問 伊根町では乗務員を正規雇用。事業の安定継続へ正規雇用の検討を。

答 町長
出来るだけ早い時期に改善へ努力したい。

問 加茂駅での鉄道とバスの連絡不調の改善を。

答 まちづくり応援課長
国から事業者と相談し対応をと回答があり今後、協議したい。

問 高校生通学費補助拡充へ、バス定期代全額補助、鉄道定期代補助実施を。

答 町長
検討していきたい。

府立高校再編方針への見解は

問 再編該当校に木津高校も対象となっている再編方針への見解は。

答 町長
木津高だけの問題でなく生徒が望む高校に行けるの

が重要。

問 子どもの進路やまちづくりに影響を及ぼす統廃合ありきに反対を。

答 町長
「ありき」は別にして生徒が望む教育環境が第一。

「非核三原則」見直しに反対を

問 「三原則」見直しは戦争被爆国の責務も核廃絶も放棄するもので許されない。町長の見解は。

答 町長
賛成、反対などの議論に至らないことを願う。

問 「非核平和宣言の町」として非核三原則堅持を政府に要請を。

答 町長
国の流れに一定歩調を合わせなければと思う。

問 「三原則の遵守を求める」との「宣言」に基づき国に堅持を求めるべき。

答 町長
「宣言」を遵守しながら動くべきと考える。

総務厚生常任委員会

シルバー人材センター

来年度稼働へ準備進行中

吉田 岡本・井上
小西・畑

11月1日令和7年度の事業執行状況等について事務調査を行った。

総務課

- 交通安全灯・カーブミラー設置事業では、交通安全全灯8ヶ所、カーブミラー10ヶ所を設置。
- 木造住宅耐震改修事業では11月10日現在、耐震診断5件、簡易改修4件の申請があった。

税住民課

- 個人番号カード交付事務事業は、10月末現在で、3074枚交付。91%の交付率。
- コンビニ交付サービス事業については、10月末現在、住民票98件、印鑑証明、146件。

保健福祉課

- 後期高齢者医療事業では、10月末現在の被保険者数、926人であった。
- 認定子ども園条例案の説明。

その他、介護保険事業、和東保育園、人権ふれあいセンター等事業の報告があった。

委員からの意見や質問

問 シルバー人材センターの状況は。

答 今年度中に設立を目指している。12月の広報で人材募集をし、令和8年度から稼働できるように、準備段階中。

問 カーブミラー、防犯灯

の設置場所は。

答 カーブミラー、10ヶ所。東、別所、木屋、門前以外。防犯灯、湯船、原山、門前、中、釜塚、白栖、1灯ずつ。

問 地方特例交付金、寄付金、分担金の予算額が大幅に増えているのか。

答 住宅ローン減税の補填。基金の預金利子が大きくなった。給付金については、企業の寄付金400万があった。

問 4月から開始の病児保育の状況、実績は。

答 現在、1件。

問 防災無線の更新、実際には何が変わるのか。

答 11月4日から親機を用。変更点は防災情報をいち早く知らせられる。子機のスピーカー、ラッパから縦型、音がクリアになる。4月以降にホームページ、LINE、メール登録ができるよう検討中。

一部事務組合議会・広域連合議会報告

相楽広域行政組合議会

令和7年第2回定例会

日時 11月27日午後1時30分
内容

・「相楽会館建替事業後の利用率向上は」「相楽会館の建替えについて、相楽地域の拠点としての情報発信を」「火葬場に関する施策について」「各計画について」4名の議員が一般質問。

・令和6年度相楽広域行政組合一般会計歳入歳出決算

歳入総額	3億2284万8749円
歳出総額	2億9114万365円

全員の賛成で認定。

・相楽広域行政組合職員の給与に関する条例の改正について、相楽広域行政組合会計年度任用職員の給与等に関する条例改正について、令和7年度一般会計補正予算(141万円の追加)、いずれも全員の賛成で可決。

相楽中部消防組合議会

令和7年第2回定例会

日時 11月27日午前9時31分
内容

・令和6年度相楽中部消防組合一般会計歳入歳出決算

歳入総額	15億4882万3054円
歳出総額	15億377万5329円

賛成多数で可決。

・相楽中部消防組合会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正については全員の賛成で可決。

・相楽中部消防組合職員の給与に関する条例の一部改正については全員の賛成で可決。

・令和7年度相楽中部消防組合一般会計補正予算第1号は全員の賛成で可決。

- まちづくり応援課
 ○ふるさと応援寄付金事業では10月末時点の寄付金は306件で463万5000円となり6年度と比較して157件、22万8000円の増加。
 ○空き家活用による新ビジネス創生事業では、利用者数128人の利用があった。
 ○文化的景観保護推進事業では保存計画策定を進めるための委員会が11月に開催。
 ○大阪・関西万博京都の力創出・発信事業では10月1日に関西パビリオン多目的エリア。10月9日に関西パビリオン京都ゾーンに出展・展示。
 ○茶源郷乗合交通生活お届け事業では10月末時点の登録者数は440人で利用者数が1317人、その内、宇治田原便の利用は3件あった。
 ○ワールドマスターズゲームズ推進事業では10月11日・12日には湯船MTBランドにて大感謝祭開催。11月2日には茶源郷まつりでMTBを体験できる取り組みを行った。
 ○農・観連携コミュニティ創生事業では9月末までの日帰りツアーの受け入れは1752人であった。
 ○グリーンスローモビリティ周遊観光事業では10月末現在までの実績は363人で、その内、路線バス利用者は119人（奈良交通83人。京都阪バス36人）であった。
 ○建設農政課
 ○地籍調査事務経費では地籍調査業務委託で白栖地区の調査を行った。
 ○野生鳥獣被害総合対策事業では有害鳥獣被害防止巡視、有害鳥獣捕獲委託

産業常任委員会

フツカーの 利用者数増加

高山
山本・岡田
村山・宗

- 環境衛生課
 ○簡易水道事業の原水及び給水費では動力費、薬品費、修繕費を執行。
 ○特定環境保全公共下水道事業では和東中央浄化センター維持管理業務委託料、汚泥処理・運搬委託料等それぞれを執行。
 ○町道撰原下島線拡幅改良工事事業では5工区の拡幅改良事業を行ったとの報告があった。
 ○料が成約され、熊対策としてのパトロールを行っている。
 ○各委員からの意見・質問
 問 茶源郷WazCarの利用者数は昨年度と比較してどうか。
 答 昨年度の利用人数は1241人で、今年度10月末時点の月平均利用者数は188人と増加している。
 問 地域林政アドバイザーの内容は
 答 生産森林組合の委託料。区の森林組合にアドバイザーをしている。
 問 京都京阪バスの実績は。20日間でJR宇治駅直通便にて往来された方が255人。宇治田原町を経由して往来された方が363人。合計618人。
 問 予備費減額の説明を
 答 4月に行政の機構改革による職員の人員費。

一部事務組合議会・広域連合議会報告

山城病院組合議会

令和7年第2回定例会

日時 11月26日午後1時30分
 内容
 ・令和6年度病院事業会計決算認定について
 ・収益的収支

収入	84億8894万7993円
支出	91億2140万5008円
資本的収支	
収入	5億2866万9134円
支出	10億2119万1491円

・令和6年度介護老人保健施設事業会計決算認定については、賛成全員で認定。
 ・国民健康保険山城病院組合長期継続契約を締結することができる契約に関する条例の制定については賛成全員で可決。

相楽東部広域連合議会

令和7年第3回定例会

日時 12月9日午前9時30分
 内容

・令和6年度一般会計決算
 歳入総額9億5181万7981円
 歳出総額8億8344万5764円
 賛成多数により認定。

・相楽東部広域連合会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例については、全員の賛成で可決。
 ・令和7年度一般会計補正予算（第2号）については、歳入歳出予算の総額10億5153万5000円から、歳入歳出それぞれ808万4000円を減額して、歳入歳出総額をそれぞれ10億4345万1000円とするもので、全員賛成により可決。

伊根町

予約型乗合交通 「いねタク」



議会では、11月20日（木）・21日（金）に総務厚生常任委員会と産業常任委員会の合同で、京都府伊根町の予約型乗合交通「いねタク」と福井県おおい町の議会改革の取り組みについて行政視察を行いました。

伊根町は、丹後半島の北端に位置し、令和7年12月1日現在人口1829人、世帯数880世帯、町の総面積は61・95km²で古代から漁業・農業で栄えた町で、浦島太郎伝説や舟屋の街並みがあり、「日本で最も美しい村連合」に加盟している。

伊根町は鉄道やタクシーがなく、公共交通は丹後海陸交通株式会社の路線バスが主なもので、これまで、路線バスへの接続や町内診療所への受診に配慮した、

定時定路線のコミュニティバスを運行されてきました。が、年々利用者の減少が見られ、小学校の通学券や利用券を配布し実施無料化など利用促進に取り組みされましたが改善が見られず、令和4年3月に廃止するとともに、同年4月からドアツードア輸送で利便性の高い



自家用有償旅客運送である予約型乗合交通「いねタク」の運行を開始されました。

予約は、全世帯に配布されているタブレット端末の行政情報配信システム「いねばん」や電話、インターネットで、観光客など町外の方は、観光案内所、飲食店や宿泊施設等に設置しているQRコードから予約すること、午前7時45分から午後9時まで、町内の利

用が可能となります。運賃は町内1人1運行300円（小児、障がい者150円）、10枚綴りの回数券2000円（小児、障がい者1000円）で、車両は電気自動車4台を保有し、平日3台、夜間と休日1台で運行、運転手は4名雇用している。

令和7年10月末現在の利用登録数は、町内の世帯数884世帯、人口1831人の内、利用登録世帯数499世帯（56・4%）利用登録者数1187人（64・8%）となり、令和6年10月から令和7年9月までの利用実績は、運行回数が8568回、乗車人数1万6450人となっている。1日当たりの運行回数は平日29・09回、土日祝12・82回、計23・80回で、乗車人数は平日56・09人、土日祝24・09人、計45・69人の方が利用されている。

おおい町 議会改革の取り組み

おおい町は、平成18年3月に旧大飯町と旧名田庄村が合併し誕生した町で、西は高浜町、東は小浜市に接しており、面積は212㎢ほとんどが中山間地で、人口は7650人である。一次産業である農業・漁業や原子力発電所関連が主な産業である。主な農産品としては米・梅・きのこがある。議会定数は13人（男性11人、女性2人）40代2人、50代2人、60代6人、70代3人で、令和5年4月の選挙では初の無投票となった。

【議会改革の取り組み】

①議会基本条例を制定
平成20年12月に議会活性化特別委員会を設置後2年半にわたり議論し、議会への民意の反映と情報公開を充実し議決機関としての責任を果たすことを目的に平成23年に可決制定した。

②タブレット導入（議会ICT化）、平成24年に広報特別委員会において議会

ICT化を調査、平成29年から議会運営に関する業務の効率化やペーパーレスを目的とした議会のICT化について、ワーキンググループによる調査研究をスタート、（先進地視察、デモ機による使用体験、理事者との協議、調査報告）を行い、平成31年3月タブレット導入を決定。

③議会BCP（事業継続計画）策定、従前から議会



の災害時対応指針が必要との検討結果によりBCPの前段階として令和2年3月「おおい町議会災害時等行動基本指針」を策定し、その後、令和2年8月「おおい町議会災害時業務継続計画おおい町議会BCP」を策定した。

④オンライン委員会、令和3年6月「おおい町議会委員会条例を改定」令和3年1月にコロナ感染症接触



により委員会欠席が発生、委員会のオンライン出席の検討をスタート、感染症対応だけでなく、疾病、出産育児、介護なども欠席事由に明記。

⑤通年議会導入、委員会活動の活性化・充実を図るため、令和3年11月議員全員協議会で通年議会を決定、令和4年6月通年議会へ移行。

⑥議員定数削減、平成18年3月の町村合併による議員数26人を平成18年12月に14人に削減、その後、令和4年12月に13人に削減した。

⑦議員報酬改定、おおい町合併後の報酬を令和5年2月に改正、議長30万円↓37万5000円、副議長24万5000円↓30万7000円、委員長0円↓新設29万6000円、議員23万5000円↓28万6000円にそれぞれ改定し、令和5年4月改選から適用となった。



様々な方に、和東の「いいとこ」を語っていただく
シリーズ「いいとこ和東 私の推し」。
今回は、撰原区在住、医学博士の藤井 優子さんです。



Q どのようなお仕事や活動をされていますか？

仕事は基本的に在宅のリモートワークで、内容としては治療法のない病気の研究や献血などの医療分野や災害時の人道支援を含む社会貢献活動に対して寄付等の支援を行っている財団法人で仕事をしています。

また地域活動としては、和東町に帰ってきた時に高齢化が進んでいることを感じ、災害時など何もしない自分では後悔すると思い、地域のために何かしたいと消防団に入団しました。

Q 和東町に戻って来られたきっかけは？

これまで関東を拠点に海外を行き来しながら仕事をしてきましたが、2020年の新型コロナウイルス感染症の流行を契機にリモートワークが可能となり和東町に戻ってきました。

Q 他にどのようなことをされていますか？

NPO法人さい帯血国際患者支援の会でボランティア活動をする中で、献血人口が減少傾向にあり、献血量が将来的に不足しかねないという状況を知り、若い世代にも献血に興味を持ってもらえるよう、和東中学校3年生を対象に献血講習を年1回させていただいています。

**「私の推し」は
撰原の湯谷山と和東のお茶**

Q 和東町の魅力として特に伝えたいことは？

若い頃は都会に憧れて暮らしていましたが、次第に自然が恋しくなりました。インターネットのおかげで車に乗らない生活であっても、不便と感じることがありません。

そして何よりお茶が美味しい、茶農家さんによって味が全く違い個性豊かで一杯のお茶をゆっくりと味わう時間が心を落ち着かせます。

Q 藤井さんの「私の推し」は？

家の近くの撰原の湯谷山の景色が大好きなところで、季節ごとに違う姿を見せてくれます。

また、お茶は湯の温度や時間、その日の空気によって毎日違う味わいを見せてくれます。ひと口ごとに香りと旨みが広がり、日毎に煎茶やほうじ茶、玄米茶に和紅茶を淹れて飲んでいます。日常の中に満足と安らぎをもたらししてくれます。



(取材 吉田哲也)

第1回定例会は、3月上旬開催予定。

委員長	井上 武津男
副委員長	宗健 司
委員	村山 一彦
委員	吉田 哲也
委員	岡田 勇

広報編集委員会

「朝日が、その日を予告する様に少
年の日は大人の日を予告する」ジョン・
ミルトン
令和8年、新年の幕明けは、世界情
勢の変化の一ページとなり、日本にお
いてもこれらの渦に巻き込まれそう
な勢いに感じられてなりません。昨年驚
峰山トンネルの開通で交通の便が良
なり、災害時におけるひとつの避難路
が確保できる様になりました。又社会
福祉施設の開設により、清潔かつ高度
医療の整った診療所・社会福祉協議会
運営が開始された事は喜びにたえませ
ん。さらに昨年からお茶の価格上昇は、
和東の農家にとつてうれしい悲鳴であ
ります。我々が浮かれて、心する事は、
良き事ばかりではなく、常に非常時へ
の備えであり、未来への子供達が安寧
に過ごす事が出来る社会づくり・地域
づくりが我々に課せられる事だと考え
られます。
(井上 武津男)

編集後記